

# 第 1 回校内ヒューマンライツを行いました

2024・4・30

「ヒューマンライツ」とは英語で「人権」を意味することばです。日頃の生活の中で疑問に思ったこと、おかしいと思ったこと、悩んでいることなどを話し合い、人権について考え、人権意識を高めていこうという活動が、名張中学校校内ヒューマンライツです。

自らの体験や考えを出し合うことで、私たちの身のまわりにある、あらゆる差別に立ち向かう力をつけることを目標としています。また、11月末の「名張市ヒューマンライツ」にも10名が参加していくことになります。

4月からメンバーを募り、1年生1名、2年生5名、3年生6名の計12名の生徒が参加し今年度の活動をスタートしました。まず、なぜヒューマンライツに入ったのかを自己紹介として話しました。「人権について考える機会を増やしたい」「文化祭でのヒューマンライツの発表に興味があった」など、みんながしっかりと目的を持っていました。

その後6名ずつのグループを作り、コミュニケーションをとりながらひとつの課題に取り組みました。お互いの意見を聞き合って、自然に和気あいあいとした雰囲気生まれていました。後日新たに1年生が5名加入しました。みんなで仲良く活動をもりあげていきたいと思ひます。



## 第2回校内ヒューマンライツを行いました

2024・5・28

新たに6名の1年生を迎え、全18人のメンバーで第2回校内ヒューマンライツを行いました。今回はランチミーティングということで、まずお弁当を食べながら下記の文章を読み、感想を交流しました。

Aのクラスでは昨日のバラエティー番組が話題になっていた。一人の芸人さんをみんなで水をかけていじっていた番組だ。出演者はみんな笑っていたが、Aのお母さんが「よってたかって笑って、いじめじゃないの。」と言ったことがAの心に引っかかっていた。その日の3時間目。Bが先生に聞かれたことと違うことを答えて、みんなはどっと笑いました。Bも笑いました。するとCが、「今の、何が面白かったのかな、笑っていいのかな。」と言いました。するとDが、「Bは気にしてないよ。まちがってもみんなにウケただし、気にするほどじゃないだろ。」と言うと、Cが、「Bが気にならなくても、わたしは気になるよ。」と返し、AはBを見ました。Bはもう笑っていませんでした。続けてCが、「Bは本当に気にしていないのかな。笑われて嫌じゃなかったのかな。これっていじめじゃない。」Bは何も言わずに俯いていました。

Dが、「いじめというよりいじりだよ。仲が良いから冗談ってわかってるし。」と言いました。しかしAは、「Dの言いたいことはわかるよ。Bも笑っていた。でも、本当はどんな気持ちだったのかな。」

### 【感想の内容】

- ・Bは芸人という職業だから、嫌だったら逃げることができる。
- ・Dは「仲が良いから冗談ってわかっている」と言うが仲が良くても嫌なことは嫌だと思う。

- Bはもう笑っていなかった、というところからやはり嫌だったと思う。
- Bは本当は嫌だったのに、みんなに流されて笑ってしまったのだと思うから、自分の意見を言うことは大切だと思う。
- 表情は笑っていても心は笑っていないかもしれない。
- 自分たちがおもしろいと思って笑っていても、笑われている子からするとなぜ笑われているのかわからないし、冗談だとわかっていてもはずかしいし、これから発表していくときに間違っていたらどうしようと考えてしまい、発表できなくなってしまいうからもっと相手の目線に立って行動できるようにしようと思った。



その後「どこからがいじめになるのか?」「いじりといじめのちがいは何か?」というテーマでそれぞれの意見を小グループで聞き合いました。

- 本人が楽しい、良いと思っているならいじめではないが、少しでも嫌だと思ったらいじめになると思う。
- 一人対複数ならいじめになる。

という考えがとても多かったです。次回、話し合った結果を確認し合い次につなげたいと思います。

## 第3回校内ヒューマンライツを行いました

2024・6・19

新たに1年生1名が加わり全19名で、6月12日（水）7時間目教育相談の時間に行いました。

まず、前回の話題（下枠）についての感想を全員で共有しました。その後、共感したり、新しく考えさせられたりしたことについて4つのグループで意見を出し合いました。

Aのクラスでは昨日のバラエティー番組が話題になっていた。一人の芸人さんをみんなで水をかけていじっていた番組だ。出演者はみんな笑っていたが、Aのお母さんが「よってたかって笑って、いじめじゃないの。」と言ったことがAの心に引っかかっていた。その日の3時間目。Bが先生に聞かれたことと違うことを答えて、みんなはどっと笑いました。Bも笑いました。するとCが、「今の、何が面白かったのかな、笑っていいのかな。」と言いました。するとDが、「Bは気にしてないよ。まちがってもみんなにウケただし、気にするほどじゃないだろ。」と言うと、Cが、「Bが気にならなくても、わたしは気になるよ。」と返し、AはBを見ました。Bはもう笑っていませんでした。続けてCが、「Bは本当に気にしていないのかな。笑われて嫌じゃなかったのかな。これっていじめじゃない。」Bは何も言わずに俯いていました。

Dが、「いじめというよりいじりだよ。仲が良いから冗談ってわかってるし。」と言いました。しかしAは、「Dの言いたいことはわかるよ。Bも笑っていた。でも、本当はどんな気持ちだったのかな。」

【みんなの感想】（第2回に一人ひとりが書いたもの）

- ①Bは嫌だったけど、みんなが笑っているから笑っただけではないか。
- ②Bがいじめだと言わなかったらいじめじゃないと思うから、AやCにBを守ることはできない。
- ③自分の気持ちを伝えないBは？
- ④人の失敗を笑うのはCと一緒に分からない。
- ⑤自分は同じ状況でも笑って過ごせるから、Cの考えはあまり分からない。
- ⑥Dの「Bは気にしていない、ウケたから良い。」は本当かどうか分からないし、「Bはもう笑っていない」所で嫌がっていることを感じる。
- ⑦Dの「Bは気にしていない」は、ただのただの理想（想像？）に過ぎない。
- ⑧DはBでないから気持ちは分からないので、ここまできっぱり言い切ることはおかしい。
- ⑨Bは恥ずかしくて嫌だったろうけど、Dの言うことも自分は分かる。
- ⑩そもそもバラエティー番組のいじりが、度が過ぎていて、これはいじめだと思う。本人が笑っていても「いじめ」であることが身近でもあると思う。
- ⑪芸人さんが笑われているのは仕事だと思っていたが、改めて考えたらダメなことも多い。
- ⑫芸人はそういったことで笑いを取るために覚悟をもって仕事をしていると思う。
- ⑬笑われている側は何で笑われているのか分からないし、周囲が笑っていると冗談であっても恥ずかしいだろうし、次発表するときに「間違えたらどうしよう」と考えさせてしまう。

⑭その場のノリでやってしまうことがあったが、相手の心をちゃんと理解しようとしたい。

【いじめといじりの境界線はどこにある】

⑮少しでも「嫌」だと思ったらいじめだと思う。

⑯また、1対1でなく、1対複数だったらいじめ。

⑰自分と相手の両方が心から笑って（面白がって）いるか、片方だけか。相手の目線に立って行動したい。

⑱相手が気にしていないならいじめだと思うが、気にしていないかどうかは分からない。

⑲自分が認めていることか、そうでないか。

⑳その時だけでなく、後になっても悲しくなったり、忘れられなくなったりするといじめ。



共感したこととして、③のBが自分の気持ちを伝えないことに対し、「嫌だと思っても声に出せないこともあるし、嫌だからこそ言いたくないこともあると思う。」などの意見が出されました。どのグループも上級生がリーダーシップをとり、お互いの意見を大切に聴き合う、違う意見を認め合う雰囲気がありました。回を重ねるごとに話し合う様子も和やかになってきています。今後も話し合い活動を充実させ、人権を大切にする意識をより高めてもらいたいと思っています。

## 第4回校内ヒューマンライツを行いました

2024・7・8

新たに1年生1名が加わり全20名で、7月4日（木）昼食、昼休みの時間に行いました。

まず、比奈知文化センターで行っている「ひばりっ子活動」の一環として、夏休みに実施する「館外学習」の案内をしました。毎年、校内ヒューマンライツのメンバーにもお誘いをいただいています。今年は8月22日（木）に、堺市舳松人權歴史館と大阪市の天保山マーケットプレイスに行きます。昨年度も多くのヒューマンライツメンバーが参加し、貴重な体験をしました。今夏もぜひみなさんに参加してもらいたいと思います。



1学期最後のヒューマンライツの活動は、7月2日（火）の「名張市ヒューマンライツ生徒実行委員会」でも行った「サイコロトーク」をしました。くじで4グループを作り、担当教師も入ってお題に添って会話を楽しみました。お互いの意見を和やかに聴き合う姿が印象的でした。2学期からもみんなで集う時間を大切に、自分の意見をもち、なかまの意見に学ぶ活動を充実させていきます。

## 第5回校内ヒューマンライツを行いました 2024・9・27

2学期になって初めての校内ヒューマンライツを9月27日（金）昼食、昼休みの時間に行いました。

まず、名張市ヒューマンライツ生徒実行委員の3年生2名から還流報告をしました。名張高校の人権サークルで活動している高校生2名が来てくれた時のことを次のように伝えていました。「伊賀地区高校生人権サークル 凧」の活動では、話し合いがスムーズに進むように、メンバーの中で記録、司会、盛り上げ役などを決めて活動し工夫していること。また、名張高校ではアイヌ民族への差別があることを学び、北海道への修学旅行でさらに学びを深めていること。他のメンバーも真剣に聞いていました。

次に8月22日（木）に比奈知文化センターの「ひばりっ子活動」の一環で、夏休みに実施した「館外学習」、堺市舩松人権歴史館で学んだことを還流しました。参加したメンバーは写真を見ながら、懐かしんでいる様子でした。ここで学んだことを今後、クラスや学年で広げてほしいです。

10月の活動では11月1日の文化発表会でどんな内容をヒューマンライツから発信するか、今後の活動で準備を進めていきます。



## 第6回校内ヒューマンライツを行いました 2024・10・8

校内ヒューマンライツを10月8日（火）6時間目の後、教育相談の時間に行いました。



11月1日の文化発表会でどんな内容をヒューマンライツから発信するかを話し合いました。

夏休みのひばりっ子館外学習で堺市舳松人權歴史館に行ってお話を聞いたことを発表してはどうか、という意見が出ました。3年生が「部落差別は身近にないと思っていたけど、現在もあるということを知ってほしい。」という思いを話してくれました。また、名張市ヒューマンライツ実行委員会で出会った高校生が、全校でありがとうメッセージ作りに取り組んでいるという話から、名張中でも全校で掲示物を作りたい、という意見も3年生実行委員より出されました。最終的に

は昨年度のように、身近な問題を動画などにして発表する、ということに決まりました。これから集まる機会を増やして内容を形にしていきます。

## 第7回校内ヒューマンライツを行いました 2024・11・13

校内ヒューマンライツを11月13日（水）6時間目の後、教育相談の時間に行いました。

**文化発表会では・・・**11月1日、学校内外での身近な人権問題について、伝えたい内容を学年別に動画で表し、全校生徒や保護者の皆さまに見てもらいました。放課後集まって、どう演技すれば伝わりやすいかを試行錯誤し、動画編集も工夫して仕上げてくれました。「大切な内容で、改めて考えさせられた」「ヒューマンライツのメンバーが一糸懸命取り組んでいる様子が伝わった」などという反応が返ってきています。

自分たちが発信した「SNSなどのうわさを簡単に信じたり、広めたりしないこと」「自分と考え方などが違って、お互いの良いところを認め合うこと」「陰口をこそこそ話すなど、誤解を招く言動をしないこと」を全校生徒が意識できるように、ヒューマンライツメンバーとしてさらに活動を発展させていきたいです。

**名張市ヒューマンライツにむけて・・・**11月22日金曜日の午後、各中学校より10名が教育センターに集まり、部落問題をはじめとするあらゆる差別解消のための仲間を育てる目的で話し合いをします。今回は当日参加しない生徒も含めて、部落問題学習について印象に残っていることを学年別で話し合いました。

## 第8回校内ヒューマンライツを行いました 2024・12・9

校内ヒューマンライツを12月9日（月）昼食、昼休みの時間に行いました。

1年生が学年閉鎖になったため、2，3年生のみで名張市ヒューマンライツの還流を行いました。

参加者より、当日印象に残ったことを一人ずつ話してもらいました。

### ①SNSと誹謗中傷について

- ・辛いことを話せる相手がいたら楽

### ②反戦・平和について

・ウクライナの戦争についての話題が出て、罪のない人がなぜ戦争に行かなければならないのか、という意見の人が多かった

- ・相手のことを好きになれば戦争はなくなる
- ・現地で生々しい戦争の傷跡を学ぶことは大切

### ③部落問題について

- ・正しい知識がないと被害者を作ってしまうし、自分が加害者になってしまうこともある
- ・親から子へ伝わるから正しい考えを伝え、悪い考えは断ち切る必要がある

### ④全体を通して

- ・なかま集会では出ない意見も出て、新しい発見があり、そこから考えを広げることができた
- 全校生徒への還流は、掲示物にて行います。